



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

たゆたう時を愉しむ

英語科 有馬 三智恵

釈迦が亡くなる間際に、弟子が「師が亡くなられたあとには何を頼りに生きたいか...」

自分を灯明にする自信などない、という人の支えになるのが「法灯明」です。

私たちは誰も多くの一人々に支えられながら生きています。以前、松下幸之助さんの著書で、「考えても答えのないものはある。しかし、志のある人は、歩いて尋ねて教えるを請い、いずれ答えを出すだろう。自分から進んで学ぶ。教えるを請うるなどと思っていけない」ということばを読んだことがあります。

です。何事も決して楽しい事ばかりではないでしょうが、嫌々「やらされている」という気持ちで臨んでも良い結果を生みません。自分なりの志を持って臨みたいものです。

たどえやる気はあっても常に順風満帆に進んでいくとは限らないのも現実です。最近よく見かける言葉にResilience(回復力・跳ね返す力)があります。

ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊さんは、学生時代、東大の物理学科でベリだったそうです。人がパツとできることができない。研究成果がすぐ出せない。しかしそれでも、コツコツ努力し続けている、ノーベル賞をとるに至ったのです。

高校時代の文化講演会で本校卒業生の有村かおりさんが、「たゆたう時を愉しむ」という趣旨のお話を下さったのを覚えています。

間には限りがあり、毎日何かに追われながら過ぎていくと感じることもあるかもしれませんが、長い人生の中で見ると、鶴丸で

過ごす三年間は高校生だからこそ味わえる貴重な「たゆたう時」なのだと思います。しかし、諸行無常の世の中です。これからは、これからは、これからは、

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校の体育館と教室ではなく、収容人数の多い鹿児島アリーナで開催された。文化系部活動のステージ発表を中心とし、三年生を激励する会のセレモニー部分を合体させ、同窓生のビデオメッセージも加えるなど、新しい形式で行われた。

「私が高校生の時は県民の森で教育キャンプでした。鹿児島県内のキャンプでした。今でも鮮明に記憶に残っています。県内でも十分に思い出に残る行事になるというのを伝えたかったです。」

「コロナ禍での修学旅行という事で、例年と大きく異なり心配もありましたが、

今回の文化祭を生徒会・文化局長として運営した24Rの永野美帆さんに今年度の文化祭の感想を聞いたところ、

「最初はクラス発表がなくなり、うまくいく心配だったが、生徒会執行部、先生方、部活動の生徒の皆さんが協力してくれ、場所も鹿児島アリーナという大きな会場で実施でき特別で新鮮な文化祭になったと思う。声を出して盛り上がることはできませんでしたが、拍手が揃ったり、自然と拍手が起きたりしてキヤッチフレーズ通り、Be The Oneになることができた文化祭だったと思う」と語ってくれました。

修学旅行前の学年朝会で、生徒が目的を持って修学旅行を迎えられるような話をして下さった宮脇慶次先生に修学旅行についてインタビューしてみました。

「私が高校生の時は県民の森で教育キャンプでした。鹿児島県内のキャンプでした。今でも鮮明に記憶に残っています。県内でも十分に思い出に残る行事になるというのを伝えたかったです。」

無事に終えることができほっとしています。生徒は鹿児島島の魅力の再発見に繋がったのではないかと思います。

「森の中にあるアスレチック施設を一人ひとりで体験するのですが、高いところに進んだりするたたりで、お互いに助け合ったり、応援しあったりして進んでいき、クラスの団結に繋がったと思います。それが最終日の開閉体育館で行ったクラスマッチに、良い形につながりました。」

「計画の段階で部屋や食事場所など感染防止に配慮した計画を立てて頂きました。バスも各クラスに2台の配車を密を避けることができました。生徒たちもマスクの着用や手洗いなど普段以上に気を付けている様子でした。」

「先ほどのマスクのこともそうですし、全日程を通して時間やルールを守り、私たちの頃より真面目だなと思います。そんな生徒たちなので、このような状況でも修学旅行が実施できたのだと思います。」

11月の行事予定

Table with columns: 月, 日, 曜日, 行事, 校時, 時間, 学年, 備考. Lists monthly events from Nov 1 to Nov 30.

5部活動合同(美術・書道・百人一首・吹奏楽・音楽)パフォーマンスの様子



←感染防止の観点から十分に間隔が確保された観覧席

Be The One 鶴丸の風を起す 第2回文化祭が開催される

コロナ禍での修学旅行を語る 26R担任 宮脇慶次先生へインタビュー

Q 新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点で気を付けたことがありますか?

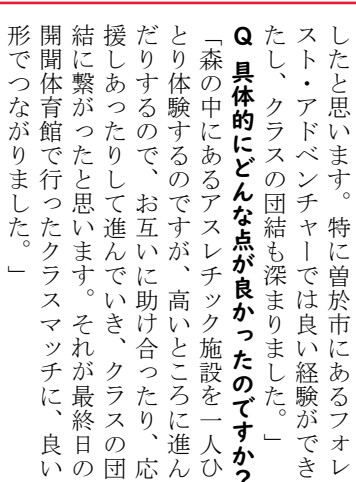
Q 今回の旅行の一つの目玉だったクラス別研修はどうでしたか?

Q 最後に何か一言お願いします。

「修学旅行が実施できて本当に良かったです。生徒の皆さんは、支えていただいた方々に感謝して今後の高校生活につなげてほしいと思います。」

Q 新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点で気を付けたことがありますか?

Q クラス別研修におけるフォレスト・アドベンチャーでの体験の様子。



↑クラス別研修におけるフォレスト・アドベンチャーでの体験の様子。

※発行時の予定です。変更にご注意してください。